

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 7 部門第 3 区分

【発行日】平成22年3月18日 (2010.3.18)

【公開番号】特開2008-187364(P2008-187364A)

【公開日】平成20年8月14日 (2008.8.14)

【年通号数】公開・登録公報2008-032

【出願番号】特願2007-18158(P2007-18158)

【国際特許分類】

H 0 4 N 5/232 (2006.01)

H 0 4 N 5/91 (2006.01)

G 0 6 T 1/00 (2006.01)

G 0 3 B 17/48 (2006.01)

G 0 3 B 15/00 (2006.01)

【 F I 】

H 0 4 N 5/232 Z

H 0 4 N 5/91 J

G 0 6 T 1/00 3 4 0 A

G 0 3 B 17/48

G 0 3 B 15/00 Q

G 0 3 B 15/00 F

【手続補正書】

【提出日】平成22年1月26日 (2010.1.26)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

動画撮影指示により動画撮影を行う動画撮影手段と、

静止画撮影指示により静止画撮影を行う静止画撮影手段と、

前記動画撮影手段による動画撮影中に静止画撮影指示がなされた場合、被写界内の人物の顔を検出する顔検出手段と、

前記顔検出手段により人物の顔が検出された場合、前記静止画撮影手段による静止画撮影における画角を設定する画角設定手段と、

を有することを特徴とする画像記録装置。

【請求項 2】

前記画角設定手段は、一度の静止画撮影で全体画角を設定すると共に、前記顔検出手段の顔検出処理結果に基づいて、人物中心の画角で画角を設定することを特徴とする請求項 1 記載の画像記録装置。

【請求項 3】

前記画角設定手段による画角設定は、一義的に行われることを特徴とする請求項 1 または 2 記載の画像記録装置。

【請求項 4】

前記画角設定手段は、撮影される静止画における人物の頭身比率を切り替えると共に、該頭身比率と前記顔検出手段の出力に基づいて記録画角を決定することを特徴とする請求項 1 記載の画像記録装置。

【請求項 5】

静止画における人物の頭身比率を設定する頭身比率設定手段を更に備え、前記画角設定手段は、該頭身比率設定手段によって決定された頭身比率と前記顔検出手段の出力に基づいて、撮影する静止画における記録画角を決定することを特徴とする請求項1記載の画像記録装置。

【請求項6】

画像記録装置において実行される制御方法であって、  
動画撮影指示により動画撮影を行う動画撮影ステップと、  
前記動画撮影ステップによる動画撮影中に静止画撮影指示がなされた場合、被写界内の人物の顔を検出する顔検出ステップと、  
前記顔検出ステップにより人物の顔が検出された場合、静止画撮影における画角を設定する画角設定ステップと、  
前記画角設定ステップにより設定された画角で静止画撮影を行う静止画撮影ステップと

を有することを特徴とする画像記録装置の制御方法。

【請求項7】

前記画角設定ステップでは、一度の静止画撮影で全体画角が設定されると共に、前記顔検出ステップの顔検出処理結果に基づいて、人物中心の画角で画角が設定されることを特徴とする請求項6記載の画像記録装置の制御方法。

【請求項8】

前記画角設定ステップによる画角設定は、一義的に行われることを特徴とする請求項6または7記載の画像記録装置の制御方法。

【請求項9】

前記画角設定ステップでは、撮影される静止画における人物の頭身比率が切り替えられると共に、該頭身比率と前記顔検出ステップの出力に基づいて記録画角が決定されることを特徴とする請求項6記載の画像記録装置の制御方法。

【請求項10】

静止画における人物の頭身比率を設定する頭身比率設定ステップを更に備え、前記画角設定ステップでは、該頭身比率設定ステップによって決定された頭身比率と前記顔検出ステップの出力に基づいて、撮影する静止画における記録画角が決定されることを特徴とする請求項6記載の画像記録装置の制御方法。

【請求項11】

画像記録装置の制御方法をコンピュータに実行させるための制御プログラムであって、  
前記制御方法は、  
動画撮影指示により動画撮影を行う動画撮影ステップと、  
前記動画撮影モジュールによる動画撮影中に静止画撮影指示がなされた場合、被写界内の人物の顔を検出する顔検出ステップと、  
前記顔検出ステップにより人物の顔が検出された場合、静止画撮影における画角を設定する画角設定ステップと、  
前記画角設定ステップにより設定された画角で静止画撮影を行う静止画撮影ステップと  
、を有することを特徴とする画像記録装置の制御プログラム。

【請求項12】

請求項11記載の画像記録装置の制御プログラムを格納するコンピュータ読み取り可能な記憶媒体。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0014

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0014】

上記目的を達成するために、請求項1記載の画像記録装置は、動画撮影指示により動画

撮影を行う動画撮影手段と、静止画撮影指示により静止画撮影を行う静止画撮影手段と、前記動画撮影手段による動画撮影中に静止画撮影指示がなされた場合、被写界内の人物の顔を検出する顔検出手段と、前記顔検出手段により人物の顔が検出された場合、前記静止画撮影手段による静止画撮影における画角を設定する画角設定手段と、を有することを特徴とする。

【手続補正 3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0015

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0015】

請求項6記載の画像記録装置の制御方法は、画像記録装置において実行される制御方法であって、動画撮影指示により動画撮影を行う動画撮影ステップと、前記動画撮影ステップによる動画撮影中に静止画撮影指示がなされた場合、被写界内の人物の顔を検出する顔検出ステップと、前記顔検出ステップにより人物の顔が検出された場合、静止画撮影における画角を設定する画角設定ステップと、前記画角設定ステップにより設定された画角で静止画撮影を行う静止画撮影ステップと、を有することを特徴とする。

【手続補正 4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0016

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0016】

請求項11記載の画像記録装置の制御プログラムは、画像記録装置の制御方法をコンピュータに実行させるための制御プログラムであって、前記制御方法は、動画撮影指示により動画撮影を行う動画撮影ステップと、前記動画撮影モジュールによる動画撮影中に静止画撮影指示がなされた場合、被写界内の人物の顔を検出する顔検出ステップと、前記顔検出ステップにより人物の顔が検出された場合、静止画撮影における画角を設定する画角設定ステップと、前記画角設定ステップにより設定された画角で静止画撮影を行う静止画撮影ステップと、を有することを特徴とする。